

## V. 研究所図書館

### 1. 図書館活動

アジア経済研究所図書館（以下「研究所図書館」）は、開発途上地域の資料・情報センターとして開発途上国の経済、政治、社会などの各分野に関わる基礎的文献と最新の資料を広く収集・整理し、利用者に提供してきた。

2015年度は、以下について重点的に取り組んだ。

#### (1) 資料展示会・講演会を通じた広報活動

図書資料の利用促進と研究所図書館の認知度向上のため、資料展示会と講演会を実施した。そのうち、話題となったニュースをテーマとしたミニ展示は、小規模ながらも時宜に応じた企画となった。

また、今回初の試みとして行った写真集展では、視覚的なインパクトが期待され、研究者や図書館職員が現地で撮影したユニークな写真とともに一般利用者の興味を引いた。会期中に開催した大西康雄上席主任調査研究員、寺本実研究員による講演会も好評を得た。

さらに、「図書館共同利用制度」協定の締結機関である一橋大学附属図書館、千葉大学附属図書館、東京大学駒場キャンパスにおいて、それぞれ佐藤章主任調査研究員、湊一樹研究員、鈴木早苗研究員による講演会を開催し、高い評価を得た。

#### (2) 図書館共同利用制度などによる利用促進

来館者数と利用冊数の増加、大学関係者の利用拡大をめざし、引き続き図書館共同利用制度の整備を図った。図書館全体の利用が伸び悩む中、同制度を利用した個人貸出は増加傾向にあり、ブックリターンポストの設置など外部利用者の利用環境の更なる整備に努めた。今年度は、ジェットロとの包括協定を締結した名古屋大学及び関西学院大学の図書館と「図書館共同利用制度」に関する覚書締結の合意に至った（2016年4月より運用開始）。

また、当館の蔵書の紹介や利用方法の説明を行う図書館見学は、大学のゼミや国際機関の研修の一環として要望があり、2015年度は50件（621人）に対して実施した。

#### (3) ジェトロ図書館情報システム

ジェトロ共通システム基盤最適化計画に基づき、研究所図書館とビジネスライブラリーの業務システムを統合し、ワンストップの資料検索・資料情報提供サービスを実現するため、図書館情報システムの調達及びシステムの構築作業を実施した（2016年4月1日、運用開始）。

#### (4) 図書館間協力・交流の推進

図書館間協力・交流の推進を目的として、他機関が主催する講演会、研究集会、セミナー等に参加した。

## V. 研究所図書館

### (5) 所内の研究会・委員会への参加

研究情報システム開発推進委員会研究成果デジタルアーカイブシステム仕様検討分科会にて、2017年度に再構築予定の研究成果デジタルアーカイブシステムの仕様を検討した。その結果、アジア経済研究所出版物デジタルアーカイブ AIDE、学術研究リポジトリ ARRIDE、アジア動向データベース Asia DB を統合し、一元化した上で、国立情報学研究所が提供するクラウド型機関リポジトリ JAIRO Cloud 上でシステムを実装し、外部発信することを決定した。

また、基礎理論研究会「東アジアの人文社会科学における論文データベースと評価制度」（主査：佐藤幸人新領域研究センター長）に参加し、日本、韓国、台湾、中国・香港における人文社会科学の論文データベースの構築の状況を把握し、これらの論文データベースが研究者や研究機関の評価制度とどのように結びついているかについて考察した。

## 2. 資料収集

2015年度の各種資料の受入数及び累計（蔵書数）は表 V-1 のとおりである。

研究所図書館は、研究所創立以来、開発途上国の政府刊行物、雑誌・新聞、海外の大学・研究機関の調査報告書、統計資料など現地の一次資料に留意して収集を行ってきた。特に、海外の主要な研究機関、政府機関等と研究所図書館との間で行われている出版物等の資料交換制度は、商業ルートでは入手し難い出版物の収集において重要な役割を果たしている。2015年度末の資料交換先は1,006機関である（表 V-2）。

開発途上国の刊行資料については、各国の書店や政府機関から直接購入しているもの及び海外研究員や海外出張者の協力により現地で直接収集しているものがある。2015年度に後者の方法により資料収集を行った国は、中国、香港、インドネシア、インド、イラン、トルコ、アルジェリア、モロッコ、ペルー、ブラジル、アルゼンチン、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、ハイチ、チリ、ボリビア、米国、フランスの19カ国・地域であった。

表 V-1 2015年度資料受入数及び蔵書数

資料種別	単位	2014年度末 合計	2015年度 受入			2015年度末 合計
			購入	寄贈交換等	計	
洋書 (アジア・アフリカ諸語を含む)	冊	297,904	5,228	4,755	9,983	307,887
和書	冊	95,192	827	1,733	2,560	97,752
中国書	冊	50,872	1,474	844	2,318	53,190
朝鮮・韓国書	冊	24,860	443	458	901	25,761
製本雑誌	冊	78,057	0	1,673	1,673	79,730
統計資料	冊	118,244	906	930	1,836	*119,242
合計	冊	665,129	8,878	10,393	19,271	683,562
新聞	タイトル	478	(新規購読)	2	2	480
雑誌	タイトル	3,706	(新規購読)	0	0	3,706

## V. 研究所図書館

地 図	枚	54,123	0	0	54,123
マイクロフィルム	本	87,582	158	158	87,740
マイクロフィッシュ	枚	48,406	166	166	48,572
ビデオテープ	本	446	0	0	446
電子記録媒体	枚	6,232	559	559	6,791

\*製本された 838 冊は蔵書数から削減している。

表 V-2 資料交換の相手機関 (2015 年度末)

地 域	国際機関	政府	図書館	研究機関	大学	銀行	企業	各種団体・その他	計	
アジア	16	215	13	82	130	34	1	46	537	
内 訳	東アジア	0	47	6	22	30	6	0	2	113
	東南アジア	9	101	4	11	26	12	0	7	170
	南アジア	0	58	1	27	14	10	1	1	112
	中央アジア	0	5	0	0	0	5	0	0	10
	日本	7	4	2	22	60	1	0	36	132
中東・北アフリカ	2	37	2	9	14	29	0	4	97	
ラテンアメリカ	7	53	0	9	25	36	0	15	145	
アフリカ	4	64	0	4	4	39	0	1	116	
オセアニア	1	10	1	1	8	2	0	1	24	
CIS・東欧	0	5	1	5	2	1	0	0	14	
北米	11	2	1	0	17	1	0	0	32	
西欧	21	0	1	11	7	1	0	0	41	
計	62	386	19	121	207	143	1	67	1,006	

### 3. 資料整理・保存

#### (1) 目録

2015 年度は、合計 12,545 冊 (点) の整理を実施した。その内訳は、和洋書 5,318 冊、アジア諸言語資料 3,405 冊 (中国語 1,405 冊、韓国語 460 冊、アラビア語 347 冊、ビルマ語 291 冊、タイ語 270 冊、インドネシア語 267 冊、トルコ語 154 冊、ラオ語 97 冊、ベトナム語 72 冊など)、年刊資料等 3,034 冊、マイクロフィルム/フィッシュ 184 点、CD-ROM・DVD595 枚であった。

作成した目録データは、研究所の蔵書目録データベースへ登録すると同時に、国立情報学研究所 (NII) のオンライン総合目録データベース (NACSIS-CAT) へも登録した。特に、NACSIS-CAT への新規目録登録数は 4,873 点で、全参加館 (1,274 館) 中、第 8 位 (2014 年度第 15 位) であった。これは、研究所図書館の迅速な整理と、他機関にはない貴重な資料を多数所蔵していることを示すものである。

## V. 研究所図書館

### (2) 雑誌記事索引

2015年度の雑誌記事索引採録件数は、12,856件(2014年度実績:14,287件)であった(表V-3)。研究所図書館の新着資料について、受入図書リスト及び雑誌記事索引を毎月継続的にウェブサイト公開した。

表 V-3 2015年度雑誌記事索引採録数

言語	英語	日本語	中国語	ロシア語	スペイン語	ポルトガル語	フランス語	アラビア語	インドネシア語	トルコ語	合計
採録件数	3,283	3,822	4,106	291	457	313	189	333	33	29	12,856

### (3) 資料の保存

新聞の長期保存と利用のため、新聞のマイクロフィルム化を行っている。2015年度は、マイクロフィルム化の対象となっている16紙のうち8紙について業務委託による媒体変換を行い、158リール作成した。

## 4. 利用者サービス

### (1) 閲覧

2015年度の研究所図書館の閲覧利用状況は、表V-4のとおりである。外部閲覧者数については、ほぼ前年度並の5,495人であった。蔵書貸出については、機構内の貸出冊数が、前年度と比べ400冊減少したが、外部への貸出冊数は280冊増加し、全体では120冊の減少となった。

また、研究所図書館見学は50件612人(国内465人、国外147人)であった(2014年度は69件861人)。

表 V-4 2015年度閲覧利用状況

	2014年度	2015年度
①外部閲覧者数	5,500人	5,495人
うち土曜日分	650人	578人
②蔵書貸出冊数	8,419冊	8,299冊
うち内部	6,056冊	5,656冊
うち外部	2,363冊	2,643冊
③資料利用冊数	28,251冊	34,462冊
④資料複写枚数	96,323枚	88,314枚
うち郵送依頼分	9,029枚	6,722枚
⑤研究所図書館見学	69件(861人)	50件(612人)

## V. 研究所図書館

### (2) 利用者アンケートの実施

研究所図書館では毎年、外部利用者及び職員の満足度を調査し、利用者サービスの向上に役立っている。(実施期間：2015年11月2日～12月28日)

表 V-5 2015年度利用者アンケート結果

	配布総数	回収数	回収率	総合役立ち度（上位2位の割合）
外部利用者	363通	334通	92.0%	99.0%
職員	199通	61通	30.6%	95.0%

### (3) 研究支援

図書館間相互貸出サービスとして、職員からの依頼により、外部図書館から438冊の資料を借り受け、351件の論文等の複写取り寄せを行った。

また、研究所図書館の各種サービス及びデータベース利用方法に関する情報リテラシー研修会を全職員、研究所新入職員、IDEASの日本人研修生及び外国人研修生、客員研究員を対象としてそれぞれ実施した。

### (4) 新着アラートサービス

新着アラートサービス（利用者に対して希望する特定地域・分野に関する新着図書・雑誌論文の書誌情報をEメールで無料配信するサービス）の今年度の登録者数は8人増で、2016年3月末現在の全登録者数は1,327人となった。

## 5. 資料・情報相談

開発途上国の経済、政治、社会などに関する具体的な事情または資料について各方面から寄せられる照会に対しては、所内の研究者の協力を得ながら主に研究情報レファレンス課が回答を行っている。

2015年度の研究所全体の主な照会・相談件数は表 V-6 のとおりである。

V. 研究所図書館

表 V-6 2015 年度主要照会・相談件数

対 象 主 題 / 地 域	開 発 途 上 国 全 般	ア ジ ア 全 般	東 ア ジ ア	東 南 ア ジ ア	南 ア ジ ア	中 央 ア ジ ア	中 東	ラ テ ン ア メ リ カ	ア フ リ カ	オ セ ア ニ ア	東 欧 ・ CIS	そ の 他	照 会 事 項 合 計
政治	1	2	15	36	1	0	3	25	12	0	0	0	95
経済	2	3	15	24	5	2	6	25	2	0	0	0	84
社会	2	3	4	16	1	1	3	11	7	0	0	0	48
貿易・通信・運輸	6	4	6	5	1	0	0	1	3	0	0	0	26
法律	2	1	2	14	5	0	0	0	0	0	0	0	24
援助	10	0	0	2	2	0	1	2	3	0	0	0	20
金融・投資	3	3	1	10	0	0	0	0	1	0	0	0	18
環境	1	3	3	9	1	0	0	0	0	0	0	0	17
企業	1	1	3	9	1	0	0	2	0	0	0	0	17
農林・漁業	1	1	2	6	1	0	0	3	1	0	0	0	15
労働	1	0	0	11	0	0	1	0	1	0	0	0	14
工業・技術	0	2	1	7	3	0	1	0	0	0	0	0	14
人口	1	1	0	6	0	0	0	0	2	0	0	0	10
資源・エネルギー	0	1	2	2	2	0	0	2	1	0	0	0	10
教育	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	6
商業・流通・サービス	0	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	6
地理	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	6
財政	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
一般・その他	6	3	8	12	10	2	0	5	7	0	0	0	53
利用・蔵書案内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	162	162
総計	38	30	66	177	34	5	15	77	42	0	1	162	647

6. 資料展示会・講演会

図書館の利用拡大と途上国理解のための啓蒙活動を目的として、資料展示会と講演会を実施した（表 V-7）。

表 V-7 2015 年度資料展示会及び講演会開催一覧

開 催 月	内 容	開 催 場 所
2015年4月	ミニ展示「シンガポール建国の父、リー・クアンユーを知るための図書」	研究所図書館
2015年5～6月	ミニ展示「キューバの外交政策と対米関係」	研究所図書館
2015年5～6月	ミニ展示「ネパールの社会・文化・歴史」	研究所図書館
2015年6月26日	講演会『『ココア共和国』ができるまで：アフリカの国とアフリカ研究を知る ―― ブックトーク・著者が語る『ココア共和国の近代』』（一橋大学附属図書館共催）（参加者 42 名）	一橋大学附属図書館 会議室（時計台棟 1F）

## V. 研究所図書館

2015年7～ 9月	資料展「開発途上国の写真集展－多様な開発途上国の姿・かたち－」	研究所図書館
2015年7月31日	講演会「付き合って見た中国 40 年」(参加者 25 名)	研究所図書館
2015年9月17～18日	平成 27 年度アジア情報研修：中国と東南アジア諸国の政府情報を調べる (国立国会図書館と共催) (参加者 18 名) 「中国の政府情報を調べる」 「中国法令情報の調査-中国の障害者法制の研究を例として-」 「東南アジア諸国の人口統計を調べる-華僑・華人を中心に-」	研究所図書館
2015年9月29日	講演会「写真を通して見るベトナムの現在」(参加者 11 名)	研究所図書館
2015年10月23日	あかりんアワー・講演会「インドを理解するために」(参加者 21 名)	千葉大学附属図書館本館
2015年11月6日	講演会「国際合意はいかにして成立するのか：ASEAN から学ぶ ― ブックトーク・著者が語る『合意形成モデルとしての ASEAN』」(東京大学駒場図書館共催) (参加者 28 名)	東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE West K301 教室
2016年3～4月	資料展「アジア研究読書案内－研究の原点を読む－」	研究所図書館

### 7. ジェトロ図書館情報システム

ジェトロ共通システム基盤最適化計画に基づき、研究所図書館とビジネスライブラリーの業務システムを統合し、ワンストップの資料検索・資料情報提供サービスを実現するため、図書館情報システムの調達及びシステムの構築作業を実施した(2016年4月1日、運用開始)。

### 8. デジタルアーカイブ

AIDE (アジア経済研究所出版物アーカイブ) 及び ARRIDE (学術研究リポジトリ) の登録数は、表 V-8 のとおりである。

表 V-8 2015 年度デジタルアーカイブ登録数

データベース	種類	前年度末累計		2015 年度		累 計	
		冊 数	PDF 数	冊 数	PDF 数	冊 数	PDF 数
AIDE	図書	773	7,047	9	92	782	7,139
	雑誌	430	5,278	28	389	458	5,667
	合計	1,203	12,325	37	481	1,240	12,806
ARRIDE	論文	—	1,146	—	118	—	1,264

「近現代アジアの中の日本」目録検索は、20 世紀前半に台湾総督府、朝鮮総督府、旧満州、満鉄、南洋庁、樺太庁等の関係機関で刊行された、いわゆる「旧植民地関係機関」の膨大な資料について、国内の所在情報の共有化を図る目的で、2006 年に構築した総合目録検索システムである。同システムは、研究所図書館の図書館情報システムをカスタマイズ

## V. 研究所図書館

開発して構築したものであるが、2016年度に研究所図書館とビジネスライブラリーの図書館情報システムを統合するにあたり、事業の見直しを行った結果、2016年3月をもって総合目録検索サービスを終了することに決定した。

2015年度は、今後予定しているデジタルアーカイブの再構築に備え、これまで図書館情報システムに登録されていた目録データを抽出し、移行に適した形式に変換する作業を実施した。

### 9. 図書館間協力・交流

#### (1) 図書館間相互貸借・複写

国立情報学研究所 NACSIS-ILL システム、専門図書館協議会参加館間等の貸借を合わせた貸出受付点数は 1,336 冊、複写受付件数は 499 件となった。国立情報学研究所の統計情報によると、研究所図書館の NACSIS-ILL による他機関への図書の貸出冊数は 1,301 冊で、加盟している 1,595 館中第 4 位と貢献度が高かった（2014 年度は 1,584 館中第 4 位）。

#### (2) 図書館共同利用制度

図書資料の利用促進を目的とした「図書館共同利用制度」は、協定締結機関が相互の構成員への個人貸出及び図書館間の相互貸借のサービス提供を行うものである。同制度を利用した今年度の個人貸出冊数は753冊であった。

2015年度は、ジェットロとの包括協定を締結した名古屋大学及び関西学院大学の図書館と「図書館共同利用制度」に関する覚書締結の合意に至った（2016年4月より運用開始）。

表 V-9 「図書館共同利用制度」締結機関

No	機 関 名	締 結 日
1	神田外語大学附属図書館	2012年12月20日
2	一橋大学附属図書館	2014年 1月15日
3	東京外国語大学附属図書館	2014年 1月31日
4	お茶の水女子大学附属図書館	2014年 2月28日
5	神戸大学附属図書館	2014年 5月12日
6	一橋大学経済研究所図書館	2014年 5月23日
7	東京大学経済学図書館	2014年 6月25日
8	京都大学東南アジア研究所図書館	2014年 9月 1日
9	千葉大学附属図書館	2014年10月10日
10	上智大学中央図書館	2014年11月 1日
11	東京大学駒場図書館	2015年 2月20日
12	放送大学附属図書館	2015年 2月24日
13	名古屋大学附属図書館	2016年 4月 1日
14	関西学院大学図書館	2016年 4月 1日



## V. 研究所図書館

### (3) 各種協力・交流事業

国立国会図書館、専門図書館協議会、九州経済調査会、京都大学、千葉市図書館情報ネットワーク協議会の事業において講演を実施するとともに、アジア情報関係機関懇談会（国立国会図書館主催）や法律図書館連絡会の会合やその他研究集会やセミナー等に参加した。

表 V-10 図書館間協力・交流事業一覧

開催月	内 容	主 催
2015年6月5日	支部図書館司書業務研修 講演：「アジア経済研究所図書館の図書館運営」	国立国会図書館
2015年11月12日	第17回図書館総合展 講演：フォーラム「使える専門図書館、つながる専門図書館～女性、防災、グローバル～」	専門図書館協議会
2015年12月22日	ワークショップ 講演：「中国・台湾の統計・諸制度に強くなる」	専門図書館協議会／（公財）九州経済調査会
2015年2月18日	アジア情報関係機関懇談会外部機関報告：「地域研究情報資源としての新聞の保存と利用：アジア経済研究所の事例から」	国立国会図書館関西館
2015年2月19日	国際ワークショップ「東南アジア地域研究情報資源の共有をめざして－いま、ライブラリアンから伝えたいこと－」 報告：「地域研究情報資源としての新聞の保存と利用：アジア経済研究所の事例から」	京都大学
2016年3月3日	研修報告会 事例報告：「開発途上国地域研究を支える専門図書館－アジア経済研究所図書館の資料収集と提供活動－」	千葉市図書館情報ネットワーク協議会

### (4) レファレンス協同データベース

国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」に引き続き参加し、2015年度はレファレンスデータを82件登録し、その貢献が評価され礼状を受けた。

また、これまで提供したレファレンスデータが年間139,899件参照された（2014年度の参照件数89,624件）。

## 10. 資料・情報委員会

資料・情報委員会では、アジ研ワールド・トレンド特集企画分科会を設けて活動した。

### (アジ研ワールド・トレンド特集企画分科会)

『アジ研ワールド・トレンド』2016年5月号（No.247）に掲載した図書館特集「アジアの古本屋」の企画・立案、執筆者の選定及び執筆を行った。

## 11. 第3期市場化テスト

「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」（平成18年法律第51号）及び「公共サービス改革基本方針」（平成19年12月24日閣議決定、平成23年7月15日改定）に基づいて実施された第1期および第2期「アジア経済研究所図書館運營業務」官民競争入札（総合評価落札方式）では、競争の導入による公共サービスの改革において一定の評価を得ることができた。

## V. 研究所図書館

第3期は、民間競争入札（総合評価落札方式）に移行し、2年契約で委託者（民間事業者）を決定した。2015年度は、2年契約の1年目であるが、委託者による効果的な業務運営及び質の高い利用者サービスの提供が実施された。